

札幌景観資産の指定について（モエレ沼公園概要）

○施設概要

開 園：平成 17（2005）年（グランドオープン）

位置づけ：総合公園

主要施設：モエレ山、ガラスのピラミッド、海の噴水、サクラの森、モエレビーチ、プレイマウンテン、テトラマウンド、ミュージックシェル、アクアプラザ、陸上競技場、野球場、テニスコート

樹 木：サクラ（エゾヤマザクラを中心に約 1800 本）

来場者数：約 88 万人（令和元年度）

○経緯など

- ・モエレ沼公園は、札幌市の市街地を公園や緑地の帯で包み込もうという「環状グリーンベルト構想」における拠点公園として計画された総合公園で、「ゴミの埋め立て後に公園を造成する」という土地の複合利用を行う事業として整備が始まった。
- ・ゴミの搬入は昭和 54（1979）年から平成 2（1990）年まで続き、公共工事で発生した建築残土の有効利用により、内陸部全体に約 270 万 t、面積 71.2 ヘクタールのゴミが埋め立てられた。
- ・昭和 57（1982）年からは、ゴミの埋め立てが終わった部分への盛土や植樹などの公園造成事業がスタートし、昭和 63（1988）年にイサム・ノグチにより基本設計が策定された後は、「公園を一つの彫刻とする」ダイナミックな構想により造成が行われ、平成 17（2005）年にグランドオープンとなった。

○該当する指定基準

- ・意匠、様式等が良好な景観を特徴付けている資産
- ・市民や観光客から親しまれている資産

			
モエレ山	ガラスのピラミッド 「HIDAMARI」	サクラの森 (遊具エリア)	海の噴水